



スタッフおすすめ図書コーナー

ているる図書情報室 2階

NEW 9月の新着図書



書名	著者	テーマ	書名	著者	テーマ
島と語る 01 琉球弧・与論島	高橋そよ	郷土	生きる ～人生の主人公になるために、若年性乳がん奇跡の未来～	ズンタロー	女性子ども
地域文化を支える人・社会・自然のつながり Vol. 2 軽石とゆいむんの思想	高橋そよ 他	郷土	ウェルビーイング向上のための女性健康支援とフェムテック	米川 瑞穂 (著), 日経BP 総合研究所 メディカル・ヘルスラボ (著)	女性子ども
「独り」をつないで 沖縄・ひきこもりの像	沖縄タイムス「ひきこもり」取材班	郷土	上野千鶴子がもっと文学を社会学する	上野 千鶴子	女性子ども
ひめゆりたちの春秋	仲程 昌徳	郷土	志縁のおんな: もろさわようことわたしたち	河原 千春 (著, 編集), もろさわようこ (著)	女性子ども
続・ひめゆりたちの春秋	仲程 昌徳	郷土	マイノリティ問題から考える社会学・入門: 差別をこえるために	西原 和久 (編集), 杉本 学 (編集)	社会学差別
はっちゃんの沖縄戦	高野裕	郷土	差別は思いやりでは解決しない ジェンダーやLGBTQから考える	神谷 悠一	社会学差別
フラワーデモを記録する	フラワーデモ	郷土	さらば, 男性政治	三浦 まり	社会学男性
居場所をください 沖縄・kukuluの学校に行けない子どもたち	藤井誠二 (著) 田名俊信 (イラスト)	郷土	ハンチバック	市川 沙央	芥川賞受賞文学
日本の中絶	塚原 久美	女性子ども	木挽町のあだ討ち	永井 紗耶子	芥川賞受賞文学
近未来の＜子作り＞を考える 不妊治療のゆくえ	久具 宏司	女性子ども	昭和史 8巻高度成長以降	水木しげる	コミック
スウェーデンの保育園に待機児童はいない	久山 葉子	女性子ども	はたらく細胞LADY 1～5巻	原田重光 (著), 乙川灯 (著)	コミック

ているるHPから蔵書検索もできます！
<http://www.tiruru.or.jp/facility/library.html>



QRコード



「さすが!」といわせる大人のマナー講座

日本マナー・プロトコル協会 (著)
 PHP研究所
 385.9 / 〃

この本では、マナーや「国と国」「都市と都市」が外交をする際に、国賓対応などを含めた社交儀礼上のルールであるプロトコルの歴史やビジネスシーンや食事、冠婚葬祭などのマナーについて書かれています。それぞれの国によって食事のマナーの違いやプロトコルの部分での国旗の扱い方の部分など興味深く勉強になりました。マナーを通して文化の違いや日常生活を送る中でのマナーなどを学んで知ることができ一冊です。



対岸の彼女

角田光代 (著)
 文芸春秋
 913.6 / 〃

公園のママ友達になじめない小夜子、会社経営に奔走する社長の葵。二人の主人公を始め、様々なライフステージの女性とその周りの人々が作中に登場する。異なる生き方を選んだ、「対岸の彼女」とは分かり合えないのか？ それとも……。多様化した現代を生きる女性の心底を描く、2005年直木賞受賞の長編。



「小さないのち」を守る

朝日新聞出版(著)
 朝日新聞出版
 379.9 / 〃

この本では、事故や虐待、いじめなどについて朝日新聞取材班がご遺族や当事者、専門家の方々に取材を行い、これらの出来事が繰り返されないための予防と対策について書かれています。ご遺族や当事者の証言の部分で考えさせられ、事故を防ぐために知っておいた方が良い子ども達の傾向について勉強になりました。子ども達のいのちについて考えさせられる一冊です。



必ずくる震災で日本を終わらせないために。

福和 伸夫 (著)
 時事通信社
 369.31 / 〃

この本では、近年メディアでも取り上げられ内閣府や気象庁などが想定している地震、南海トラフ地震について名古屋大学教授減災連携研究センター長でこの本の著者である福和伸夫氏はこれまでの南海トラフであった地震が起こった周期から南海トラフ地震は必ず起きると断言し警告する。南海トラフ地震が起こること、電気、水道、ガスがどのようになるのかについてや著者が地元名古屋で立ち上げ、企業や行政の防災担当者が震災について忖度なく本音で語り合う「ホンネの会」などについて書かれている。



対人援助の現場で使える 聴く・伝える・共感する技術便利帖

大谷 佳子(著)
 翔泳社
 369.17 / 〃

この本では利用者との信頼関係を築くために使えるコミュニケーション力の高め方や聴き・伝え・共感上手になる技術などが書かれています。ヤマアラシのジレンマのところが話が相手に上手く伝わっていないときの考え方が印象に残っています。介護・福祉・医療・学校・自治体の仕事の現場だけではなく、家族や友人など普段のコミュニケーションを取る際にも参考になる一冊です。



プロカウンセラーが教える場面別傾聴術レッスン

古宮 昇(監修)
 ナツメ社
 146.8 / 〃

この本では心理カウンセラーと一般的な傾聴の違いやホンネをしゃべれない人の対応や適応障害のある人への対応など様々な場面での対応の仕方について書かれている本です。この本の中で心理カウンセラーや一般的なコミュニケーションでも禁句とされている言葉や話し手の性格によって聴き方を変えるところが印象に残っています。心理カウンセラーだけではなく、私たちにとても参考になる一冊です。



わたしはオオカミ

アビー ワンバック(著)
 寺尾 まち子(訳)
 海と月社
 アート 783.4 / 〃

この本の著者は元女子サッカーアメリカ代表でアテネ、ロンドンオリンピックの2度の金メダル、2015年のW杯では優勝し、ロンドンオリンピックでは最優秀選手に輝くといった女子サッカー界のレジェンドであるアビー・ワンバックさんで著者が考える古いルールと新しいルール、そして心がけている8つのことについて著者自身の経験などを基に書かれている本です。スタッフはこの本の中で、本のタイトルの中にもあるオオカミのエピソードや女子サッカーを引退するときの著者の別れのメッセージが印象に残っています。



丁寧な暮らしをする餓鬼

塵芥 居士(著)
 KADOKAWA
 大型コミック
 コーナー 726.1 / 〃

1コマごとにかわいく思えてくる、ガッキーこと餓鬼の生活を描いた漫画。ガッキーにとっても、旧盆は楽しい一時だったかもしれません。旧盆中に仏壇の下に供えるミンヌク(御馳走の切れ端)は、餓鬼や無縁仏への施しのためとされています。かまぼこや豚肉をつまんだであろう(?)ガッキーを想像しながら読んでみてはいかがでしょうか？



ジェイクと海のなかまたち

葉 祥明(絵・文)
 自由国民社
 YAコーナー①
 E YA / 〃

犬のジェイクが海にもぐって、海のこと、そして海で生きている動植物や虫たちのことを私たち人間に教えてくれる絵本。「なんて、きれいなんだろう。まるで夢のようだなあ。」とジェイクがつぶやきます。現実でも、この絵本のような海をずっと先の未来までのこしていけるか、考えられる一冊。落ち着いたグラデーションで美しい海が描かれており、お子さんの寝前の読み聞かせ等にもおすすめです。